

国語科学習指導案

日 時 平成17年10月13日(木) 5校時

学 級 2年D組(男子17名 女子16名 計33名)

指導者 教諭 及川 圭司

1 単元名 本の世界を広げよう 『短歌と俳句、それぞれの表現』(国語2 光村図書)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は読書教材として扱われており、小説のおもしろさに気づいたり、表現の仕方に着目したりし、読書に親しむ態度の育成をめざすものである。作品中に使用されている語句や表現の特徴を捉えさせ、目的や意図に依じて的確に読み取る能力も育てたい。

短歌と俳句は、古来受け継がれた、日本独特の表現形態である。定められた音数・リズムの中で、その情景や心情にふさわしい言葉を精選し、完成された短歌・俳句の秀作に触れることは、語句の特徴に着目した表現活動につながると考えている。語句や表現技法に着目し、作品の情景や作者の心情を読み味わう学習を通して、読む力や鑑賞能力を高めるようにしたい。

(2) 生徒の実態

教研式CRT調査の結果については、すべての領域について全国水準を上回っている。

2年D組の場合、読む領域の「文章の特徴に注意して読むこと。」という項目が、全国水準と比較した際、若干の落ち込みが見られた。実際、文章表現から作者や登場人物の心情を考えることに、苦手意識を持っている生徒が多い。心情についてすぐに答えることができるが、「なぜそう考えるか。」など、文章から根拠を導くことがなかなか進まない状況である。表現描写に気をつけて読む力の不足であると考えている。

授業では、作品に使われている語句や表現の仕方に着目した読みを実践する中で、短歌・俳句を進んで読んだり、創作したりし、自らの言語感覚を磨く姿勢を培いたい。また、展開の場面で、空白部の言葉が出てこない生徒を抽出し、支援の手だての有効性について検証したい。

(3) 指導観

本授業では、短歌・俳句の情景や心情読みに迫るため、学習の導入段階で作品に用いられた語句に着目させ、授業を進めていく。具体的には、俳句に使用されている重要語を隠し、その言葉が何かを考えさせる。その中で、重要語以外の部分をじっくり読ませ、作品の全体像を把握させる。最終的には、語句や表現の仕方に注意して、作品を自分なりに読み進め、短歌・俳句の創作に役立てるようにさせたい。

また、言語感覚や感性、思考力を育てるためにも、個々に考えさせる活動の時間を保証し、取り組ませていきたい。それをもとに、グループ(2~3名)の中で、意見交流を行い、他の人の考えを聞き、自らの読む力を深めさせたいと考えている。

(4) 研究主題との関連

本時の授業は、「思考力を高める学習のサイクル - 学習動機の明確化 - 」の段階である。

4つの俳句の空白部分にどんな言葉を入れるか、自分のものの見方や考え方を明らかにする学習

により、作品のイメージを膨らませる主体的な読みの力の育成を図りたい。

3 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・短歌や俳句などの形式を理解し、進んで作品の情景や作者の心情を味わおうとし、自らの表現活動に活かそうとしている。

【書く能力】

- ・作品の中の語句に着目し、読み取った情景や心情を鑑賞文として、自分の言葉で書き表す。
- ・自分の感動した思いや情景を、言葉を精選したり、表現の仕方に注意したりし、短歌・俳句として表現する。

【読む能力】

- ・一つひとつの語句の役割や表現の仕方に注意して、詠まれている情景や心情をとらえる。
- ・短歌・俳句特有の言い回しや歴史的仮名遣いに注意し、音読する。

【言語についての知識・理解・技能】

- ・短歌・俳句特有の豊かな言語感覚を養い、語彙を増やす。
- ・短歌・俳句についての基礎知識、修辞や文体の特徴を知る。

4 指導計画と評価規準

は、家庭学習を示す。

次	時	指導目標	関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
1 学 習 動 機 の 明 確 化	1 本 時	“虫食い”俳句の空白部分を考える	“虫食い”俳句の空白部分について、根拠と共に考える。(学習シート)			言葉のイメージを膨らませ、俳句における語句の効果的使い方について理解する。(学習シート) 家庭学習 “虫食い”俳句・短歌1つずつに取り組み、部に入る言葉とその理由を考える。	
2 理 解 の 確 認	2	教科書本文を読み、短歌や俳句を音読する。	短歌や俳句のリズムを生かし、進んで音読・暗唱する			短歌・俳句特有の言い回しや歴史的仮名遣いに注意し、音読する。	短歌・俳句についての基礎知識や修辞などを知る。

2 理解 の 確 認	2				家庭学習 テーマに基づ き、俳句の創作 を行う。		家庭学習 漢字練習シー トで漢字の書 き取り練習を してくる。
	3 ・ 4	好きな短歌・俳句 一つずつ選ばせ、 鑑賞文を作成す る。	作品の語句 や表現の仕 方に着目し、 作品の情景 などを捉え、 鑑賞文を作 成する。		情景や心情 をもとに、気 に入った理 由、感想など を自分の文 章としてま とめる。	作品の語句 や表現の仕 方に着目し、 選んだ作品 の情景や心 情を読み取 る。	
3 活 用 場 面 の 設 定	5	各自で短歌・俳句 を創作する。	広く題材を 選び、短歌・ 俳句を、工夫 して創作す る。		各自の言語 感覚や感性 をもとに、短 歌・俳句を創 作する。		

5 本時の指導

(1) 目標

虫食い俳句の空白部分に何が入るかを考えあう学習から、言葉のイメージを膨らませ、俳句における語句の効果的な使い方について理解できる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観 点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
関心・意欲・態度	虫食い俳句の空白部分について、俳句の情景を踏まえながら、根拠と共に考えようとしている。 (学習シート)	虫食い俳句の空白部分について、根拠と共に考えようとしている。 (学習シート)	虫食い俳句の空白部分に入る言葉を、他の語との関連性から入れさせるようにする。(学習シート)
読むこと	言葉のイメージを膨らませ、俳句における語句の効果的な使い方や表現の特徴について理解できる。(学習シート・観察)	言葉のイメージを膨らませ、俳句における語句の効果的な使い方について理解できる。 (学習シート・観察)	俳句に使用されている語句から、五感で感じ取れるものを挙げさせ、学習シートに記入させる。 (学習シート・観察)

(3) 展開

段階時間	学習活動・学習内容	留意事項・評価	配付資料・教具
導入 五分	1 本時の学習活動について説明し、学習目標を提示する。	虫食い俳句を4句提示し、教師主導で空白部の言葉を生徒に考えさせながら、作品の情景を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">虫食い俳句の空白部分を考えよう。</div>	紙板書 紙板書
展開 1個人 一分	2 虫食い俳句3句を提示し、空白部分に入る言葉とその理由を考えさせる。 3 自分が担当する俳句について、空白部分に入る言葉やその理由を学習シートに書かせる。	空白部分に入る語句のヒントを生徒に示す。(擬音語、食物 1句はノヒント) 【関心・意欲・態度】 空白部分以外の部分に着目し、言葉を想像する。 なぜそう考えるか、根拠を必ず示すように指示する。	学習シート
展開 2 グループ 三分	4 割り当てられた俳句について、空白部分に何が入るか、なぜそう考えるかを、グループ内で意見交流させる。 5 意見交流の内容についてグループで出た意見をまとめさせ、代表グループ・代表生徒に発表させる。 6 虫食い俳句について、空白部分の言葉と句の情景について教師が簡潔に説明する。 7 自分の選んだ俳句の情景をまとめさせる。	グループ内の意見交流を通して、作品に描かれている情景についても考えさせるようにする。 グループの中で発表内容についての確認をさせるために、代表生徒を教師があらかじめ指名しておく。 発表の際には、発表メモを見ないよう指示する。 生徒が感じているものを具体化させるようにする。 【読む能力】 作品中の語句から、さらにイメージを膨らませ、描かれている情景を読み取らせ、学習シートに記述させる。	意見交流シート
終末 五分	8 今日の学習活動をふりかえる。 9 宿題を連絡し、プリントを配布する。	俳句の中で使われる言葉一つひとつの重要性を説明する。	紙板書 宿題プリント

(4) 板書計画

<p>学語目標</p> <p>虫食い俳句の空白部分を考えよう。</p>	<p>A 雪とけし 村いっばいの <input type="text"/> かな</p> <p>その理由も考える。 <input type="text"/> 以外の部分から <input type="text"/> に何が入るか。</p>	<p>B 雪国や <input type="text"/> 時計生き <input type="text"/> 擬音語</p>	<p>C をとめ今 たべし <input type="text"/> の 香をまとひ <input type="text"/> 食物</p>	<p>宿題</p> <p><input type="text"/> にめてはまる言葉とその理由を考える。 ^ v内はヒント。</p> <p>E <input type="text"/> らも 海かけて飛べ 吹流し ^鳥</p> <p>F 今日までに 私がついた 嘘なんて <input type="text"/> どうでもいよと いうような <input type="text"/> ^自然</p>
-------------------------------------	---	---	--	---

(5) 2年D組座席表

斜線部は抽出生徒